

# 株主の皆さまへ

第2四半期報告書

2023年度 2023.4.1 >>> 2023.9.30



## まっすぐに。しなやかに。

平素より格別のご高配を賜り  
厚く御礼申しあげます。  
株主の皆さまにおかれましては、  
今後とも一層のご支援を賜りますよう、  
よろしくお願い申しあげます。

代表取締役社長 茅本 隆司

Q

前年同期と比較した  
2023年度上期の業績について  
教えてください。

A

自動車関連事業は回復基調も、  
情報通信関連市場低迷の影響を  
受け減益。

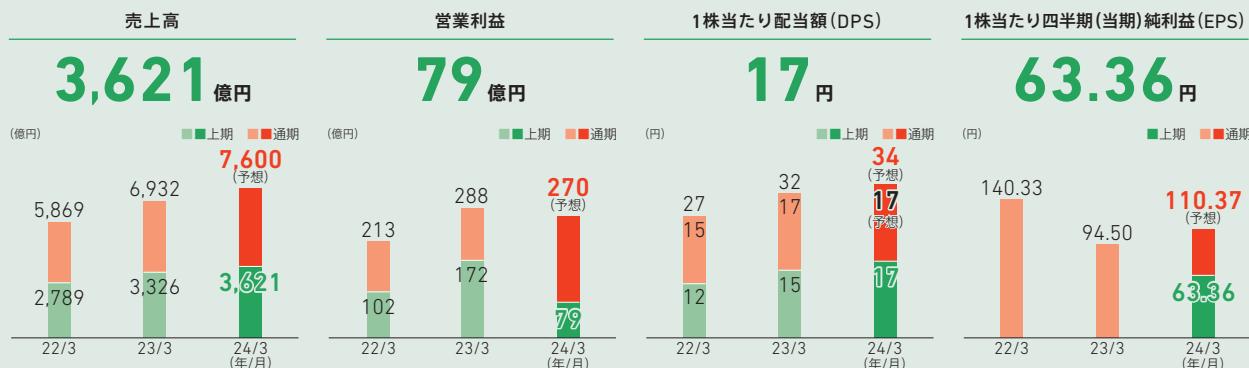
当社グループの主要な事業分野であります自動車  
関連市場における自動車生産台数は、当社グループの  
主要拠点となる日本、米国、タイ、中国の全ての国にお  
いて増加となりました。

もう一方の主要な事業分野であります情報通信関  
連市場においては、HDD（ハードディスクドライブ）

の世界生産台数が減少し、当社グループの主力製品で  
ありますHDD用サスペンションの総需要は減少となり  
ました。また、半導体市場の低迷の影響を受け、半導  
体プロセス部品の総需要も減少となりました。

以上のような経営環境のもと、精密部品事業および  
産業機器ほか事業は、情報通信関連市場の低迷に伴う、  
HDD用サスペンションおよび半導体プロセス部品の  
生産数量が減少したことにより売上高は減少したも  
の、懸架ばね事業およびシート事業が自動車生産台  
数の回復に伴う生産数量の増加により売上高が増加  
したことから、当社グループの連結売上高は増収とな  
りました。

営業利益につきましては、懸架ばね事業の北米にお  
ける労働市場のひっ迫による人件費の高騰、および動  
力光熱費等の固定費の増加や情報通信関連市場の低



その他財務指標についてはファクトブックをご覧ください

<https://www.nhkspg.co.jp/ir/library/factbook>



迷によるHDD用サスペンションおよび半導体プロセス部品の生産数量の減少の影響を大きく受け減益となりました。

**Q** 当初の計画と比較した2023年度通期業績見通しを教えてください。

**A** 自動車関連事業は回復が進むも、情報通信関連市場の回復が遅れ営業利益は減益。

通期の連結業績予想は、自動車関連事業においては、引き続き半導体不足等の影響からの持ち直しの動き

が見込まれることから、懸架ばね事業およびシート事業の売上高は数量増に伴い増収となる見込みです。

営業利益につきましては、減益の見込みです。主要因としましては、懸架ばね事業の北米における労働市場のひっ迫による人件費の高騰、および動力光熱費等の固定費増の影響を大きく受けていること。また、情報通信関連事業において、HDDの生産台数が当初の計画を下回る見通しであること。さらに半導体市場の回復も当初の計画より遅れる見通しであることがあげられます。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、為替レートが当初計画に対して円安で推移していることによる為替差益等により、当初の計画を達成する見込みです。

Q

HDD用サスペンションの市場動向をどのようにみていますか？

A

クラウド技術の発展を背景に2030年ころまでは年10%程度増加する見込み。

現在、HDDの用途はデータセンター向けが主流となっています。データセンターに使用される大容量HDDには、現行最大20個のサスペンションが使われており、データセンター向けのHDDが増加すると、サスペンションも増加します。

近年のクラウド技術の発展によりデータセンターのニーズは高まる一方となっており、サスペンションの数量は2030年ころまでは年10%程度増加する見

込みです。

当社グループは、データセンター向けのサスペンション技術において業界トップの実力を保持しており、さらなる生産ラインの自動化やAIを使った外観検査の機械化などで製造コストを下げ、高収益事業の継続を目指してまいります。

Q

電動車分野のモーターコア事業の取り組みを教えてください。

A

グローバル拠点における量産供給体制の強化と積極的な設備投資で事業の基盤を強化。

世界的な脱炭素化の流れを受け、電動車などの駆動

### 懸架ばね事業

#### 売上高



#### 営業利益

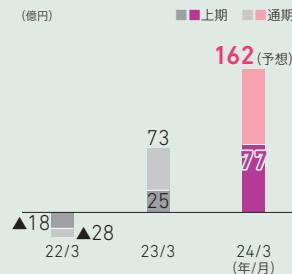


### シート事業

#### 売上高



#### 営業利益



モーター需要は今後も活況となる見込みであり、駆動モーターの構成部品となるモーターコアの需要は急拡大しています。

当社グループは、日本、メキシコ、中国の3拠点でのグローバル供給体制を強みとし、事業拡大に注力しており、日本では2023年11月に新生産棟が竣工しました。メキシコにおいても順次、生産能力を増強しつつ、モーターコア事業の生産性向上と原価低減を追求し競争力を高め、基盤強化に取り組んでまいります。

モーターコア事業の売上高は、2035年に500億円超を目指し、モーターコアを取り巻く他の部品も含めると約1,000億円の売上高を目標としております。

引き続き株主の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 精密部品事業

#### 売上高



#### 営業利益



### 産業機器ほか事業

#### 売上高



#### 営業利益

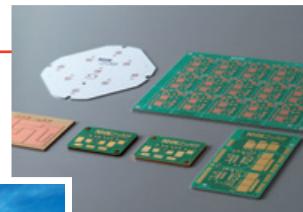




## 電動車部品の生産能力増強

当社は、電動車のLEDヘッドライトやメーターパネル、充電器などに使用される金属基板を生産しています。自動車電動化の需要は年々増加する見通しであり、金属基板に搭載した半導体を用いた制御もこれに比例して需要拡大が見込まれています。この市場拡大に対応するため、現在の駒ヶ根工場の隣接地に約100億円を投資して新たに工場棟を建設することを決定しました。

先に決定していた設備投資と合わせて、今回の新生産棟建設により、当社の金属基板におけるグローバル生産能力は2021年度実績に対して約2.5倍近くまで向上します。(金属基板の概要を9ページでご紹介していますので併せてご覧ください)



電動車などで使用される金属基板



新生産棟の完成予想図



展示の様子

## JAPAN MOBILITY SHOW 2023に出展

2023年10月・11月に、日本自動車工業会が主催するJAPAN MOBILITY SHOW 2023が東京ビッグサイトで開催され、当社も出展しました。<挑むニッパツ2023>をキーコンセプトにして、ブース内ではニッパツが挑む様々な事柄を「かるたの読み札」に見立てた来場者向けイベントを開催。2039年に100年企業へ成長を遂げる企業像を、挑戦というワードを切り口に幅広い来場者に向け訴求しました。クルマの電動化や自動運転に対応した軽量化されたばね・高機能なコンセプトシートに加えて、金属加工・熱処理技術を生かした「なくてはならないキーパーツ」を展示し、多くの来場者から好評を得ました。

### 展示例 環境配慮コンセプトシート

再生材・バイオマス材の使用はもとより、簡単に分解できることにこだわった、環境に配慮したコンセプトシートです。現状、シートは組みつけの観点を中心に考えられた構造と、様々な材料を使っているがゆえに、ほとんどがリサイクルされずに焼却処分されています。当社は、乗り心地は妥協せず、持続可能な社会の実現のために、自社開発した市場トップレベルのバイオマス度37%のバイオマスウレタンという環境にやさしい素材を使いながら、解体時間を50%削減でき素材別にリサイクルを可能とするなど、リサイクルのしやすさを追求しました。



簡単に解体できてリサイクルしやすい環境配慮コンセプトシート

## 神奈川県と長野県が発行するグリーンボンドに投資

当社は、昨年度に引き続き今年度も神奈川県および長野県が発行するグリーンボンドへの投資を決定しました。

神奈川県には当社グループの国内拠点のうち26か所に、国内従業員のおよそ5割にあたる約4,700人が、また、長野県には13か所に、国内従業員のおよそ2割にあたる約2,000人が勤務しています。当社は、本投資を通じて、当社の重要な拠点である神奈川県および長野県の自然環境改善や水害防災などの対策に対して深く関わり、長野県のサステナビリティに貢献し、ひいては、当社の本業を通じた地域社会への貢献についても、より高い相乗効果が期待できるものと考えます。

当社は、本債権への投資を踏まえ、今後も一層、事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献できるように努めていきます。



ものづくりの動画を前面に据えた新サイトのトップページ

## 当社ホームページをリニューアル

2023年11月、当社ホームページを9年ぶりに全面リニューアルしました。新サイトでは「ニッパツの魅力伝達」をテーマに、当社のものでづくりの先進性やそれにかかる情熱・力強さが伝わるようなデザインを採用しています。機能面では、製品検索機能の刷新やページ導線の見直しなどを実施し、ユーザー目線の使いやすさ向上に努めました。

新サイトには、ニッパツの強みをお伝えするコンテンツなども新たに設置しました。今後も内容を拡充し、当社の魅力を皆さまにお伝えしていきます。ぜひご覧ください。

<https://www.nhkspg.co.jp>



## ニッパツレポート2023を発行

2023年9月、ニッパツレポート2023(統合報告書)を発行しました。今回は当社の重要課題(マテリアリティ)やそれに関連する社外役員からのメッセージ、当社の成長の基盤である従業員たちにフォーカスした従業員座談会など、新たなコンテンツを追加し、統合報告書として発行しました。

ぜひご一読いただき、当社および当社グループのサステナビリティに関する考え方やその取り組みについてご理解を深めていただく機会となれば幸いです。

<https://www.nhkspg.co.jp/sustainability/report>



# 株主アンケート結果のご報告

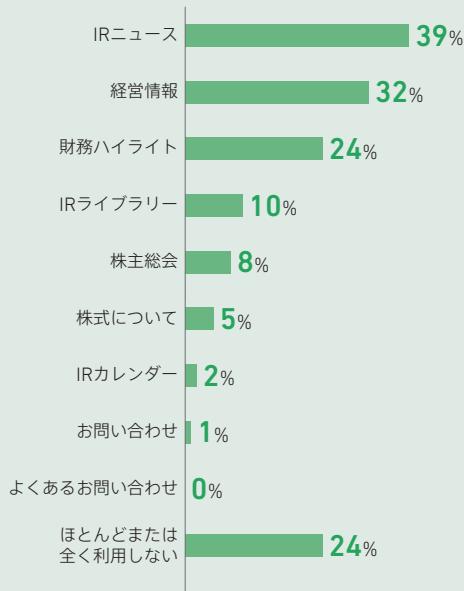
当社は、株主の皆さまの声をとお聞かせいただくため、株主アンケートを実施しています。

「株主の皆さまへ 2022年度第2四半期報告書」にてご協力をお願いした結果、多くの株主様からのご回答をいただきました。

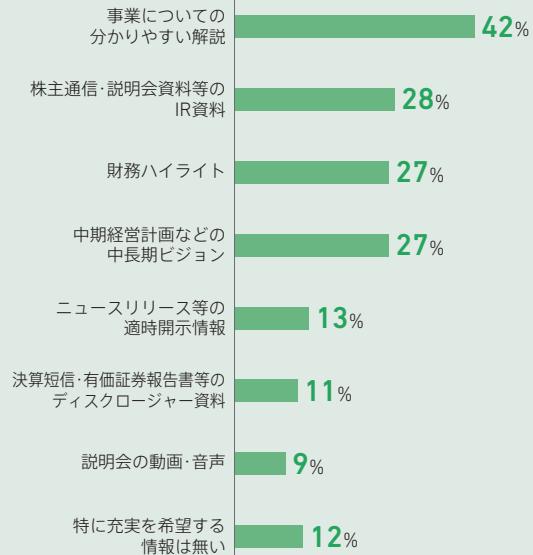
ここにアンケートの集計結果の一部についてご報告いたします。

## アンケート集計結果

### ○IRサイトで主にどこの情報を利用していますか



### ○IRサイトで充実を希望する情報をお選びください



多くのご回答ありがとうございました。

皆さまよりお寄せいただいたご意見・ご要望等は、今後のIR活動に活かしてまいります。

## いただいたご意見・ご要望に対するご回答

### Q 車の電動化対策について教えてほしい

A 当社は「自動車の電動化への対応を加速」することを経営方針に据え、取り組みを進めています。具体的には、電動車のモーターの動力を生み出すために使用されるモーターコアの開発強化として、グローバル生産体制の構築、金型製作能力の増強、新工法の開発、試作品への積極的対応などに取り組み、モーターコア市場での独自性を生み出すことで拡大・成熟を目指しています。

そのほかにもばねの軽量化や金属基板の高機能化など、全社で電動化対応を進めていきます。

### Q 決算動画を公開してほしい

A 2023年3月期本決算より、アナリスト向けに実施した決算説明会の動画を当社ホームページにアップロードしています。社長の茅本が当社の今後の成長に向けた取り組みを、CFOの吉村が業績報告についてお話ししていますので、ぜひご覧ください。



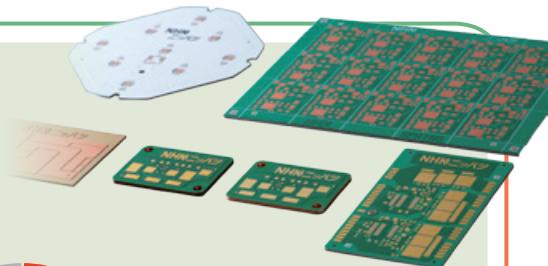
### Q 株価上昇の施策を教えてください

A グループとしての今後の収益改善・成長戦略として、懸架ばね・シート・精密部品事業については、より高収益な体質を目指した施策を進めています。また、自動車の電動化対応製品等の、今後大きな伸びが期待される事業に関しては、受注を取りこぼさないために設備投資を適宜実施するとともに、効率的な運営体制構築による収益基盤の確立に努めていきます。これらのシナリオに関するIR活動や情報発信を充実させ、株価向上を図ります。

### Q 御社の株を買ったばかりですが、製品が分かりづらいので紹介ページを作ってほしい

A 今回、9ページで当社の成長製品のひとつである金属基板を取り上げ、ご紹介しています。また、そのほかの製品についても当社ホームページにまとめておりますので、ぜひご覧ください。

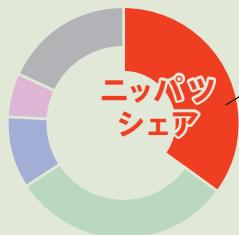
# 電動化を支える金属基板



## 金属基板とは

金属基板とは、アルミや銅などの金属板の上に絶縁層を介して回路を形成したものです。

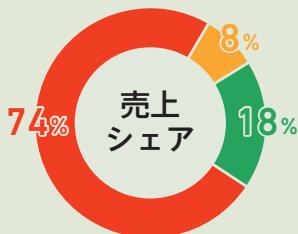
搭載される機器やその用途によって、放熱性・耐電圧・耐熱性などの機能が求められ、当社の技術力により、お客様のニーズに合わせた開発が可能です。



金属基板市場で、  
ニッパツが  
世界シェア **No.1**  
(当社調べ)

## 金属基板の用途

- 車載**
- LED ヘッドランプ
  - DC-DC コンバーター
  - 充電器
  - 電動パワーステアリング
  - ヘッドアップディスプレイ
  - メーターパネル



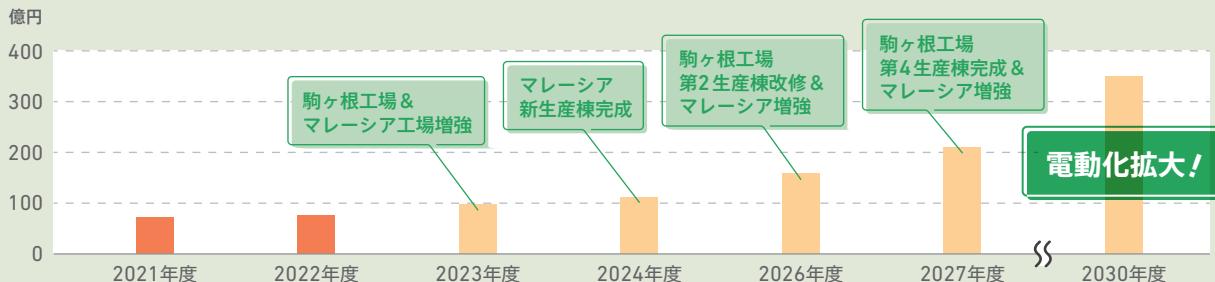
**家電** ● LED照明 ● エアコン



**産業** ● IGBT Module ● ロボット ● ソーラーインバーター



## 今後は売上300億円超を目指す



## 会社概要

(2023年9月30日現在)

商号	日本発条株式会社
創立	1939年(昭和14年)9月8日
資本金	170億956万6,312円
従業員数	5,164名(単独)20,600名(連結) ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む ※従業員数は、2023年3月31日現在の人数です。
本社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10
事業部	ばね生産本部、シート生産本部、 精密ばね生産本部、DDS生産本部、産機生産本部

グループ会社	54社(内連結対象会社38社、持分法適用会社8社) 国内 23社 海外 31社
工場	横浜工場(ばね/シート)、滋賀工場、群馬工場、豊田工場、 厚木工場、伊那工場、駒ヶ根工場(DDS/産機)、伊勢原第一 第二工場、宮田工場、野洲工場
分館	横浜みなとみらい分館
支店	北関東支店、浜松支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、 福岡支店
上場	東証プライム(コード5991)

## 株式の状況

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	12,294名

## 大株主

(2023年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,164	10.22
三菱UFJ信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,392	9.88
双日株式会社	13,199	5.82
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	13,033	5.75
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 神戸製鋼所口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	9,504	4.19
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,837	3.90
大同特殊鋼株式会社	8,507	3.75
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	5,753	2.54
株式会社横浜銀行(常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	5,718	2.52
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U. S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	5,648	2.49

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

※当社は、自己株式17,349,199株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 取締役・監査役

(2023年9月30日現在)

代表取締役社長	茅本 隆司	社外取締役	田中 克子
代表取締役副社長	貴名 清彦	社外取締役	玉越 浩美
代表取締役副社長	吉村 秀文	常勤監査役	清水 健二
取締役	上村 和久	常勤監査役	豊田 雅一
取締役	佐々木 俊輔	社外監査役	海老原 一郎
社外取締役	末 啓一郎	社外監査役	古川 玲子

## 執行役員(取締役兼務者を除く)

(2023年9月30日現在)

専務執行役員	佐伯 俊則	執行役員	伊藤 洋二
専務執行役員	藤原 哲哉	執行役員	斉藤 清一
専務執行役員	小野 達朗	執行役員	齋藤 則幸
専務執行役員	高村 典利	執行役員	力徳 和尚
常務執行役員	立川 俊洋	執行役員	新開 康弘
常務執行役員	堀江 雅之	執行役員	池知 洋一
常務執行役員	梅野 純	執行役員	宮原 淳一
常務執行役員	一杉 守宏	執行役員	齋藤 達也
常務執行役員	池尻 修	執行役員	市川 乃樹
常務執行役員	岡島 創	執行役員	佐々木 良隆
常務執行役員	田中 充	執行役員	岡 順一
常務執行役員	山口 昌由	執行役員	三柳 暁
		執行役員	石川 英男

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当を行う場合は9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="https://www.nhkspg.co.jp/">https://www.nhkspg.co.jp/</a>

## お知らせ

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記 三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せください。三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次いたします。なお、特別口座に記載された株式を売却するためには証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振替えるお手続きが必要となります。
- ただし、下記3.にご説明します単元未満株式(100株未満の株式)については、証券口座に振替をせずに売買することが可能です。  
これについては三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- 市場で売買できない単元未満株式につきましては、当社に対してご所有の株式を時価で売却すること(買取請求)、または単元株となるまでの不足株式数を当社から購入すること(買増請求)ができます。いずれのお手続も口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記載された株式については、三菱UFJ信託銀行 証券代行部へお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株主の皆さまの声を  
お聞かせください

## コエキク



当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 5991xNMR



QRコードは株式会社アンソニーウェア  
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)